

土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

ページ

共通編 河川編 道路編

改定 追加 訂正

適用年月日（平成30年2月1日以降積算基準日適用）

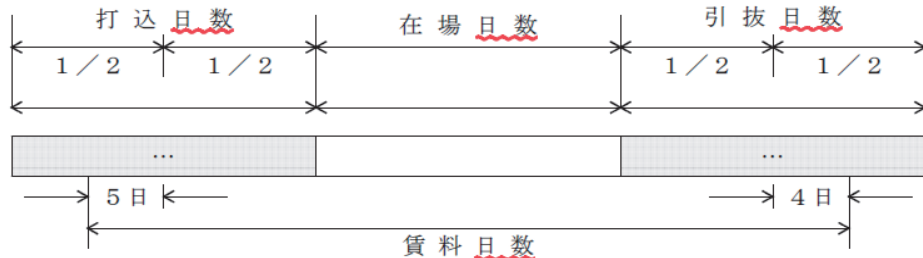
仮設-7
(117)

105-010 仮設工

1. 賃料期間の算定

鋼矢板の賃料期間の算定については次を標準とする。

現



$$\text{賃料日数 (日)} = \left[(\text{打込日数} \times 1/2) + (\text{在场日数}) + (\text{引抜日数} \times 1/2) \right] \times 1.5 + (5\text{日} + 4\text{日})$$

行

- (注) 1. 仮設用H杭についても同様の扱いにする。
 2. 土留め、締切り、路面覆工等に使用される切梁腹起し覆工板及び工事用道路等に使用される敷鉄板については打込（引抜）日数を設置（撤去）日数と読みかえ同様の扱いとする。
 3. 在场日数は、各工種の積上げ日数（実作業日数）とする。

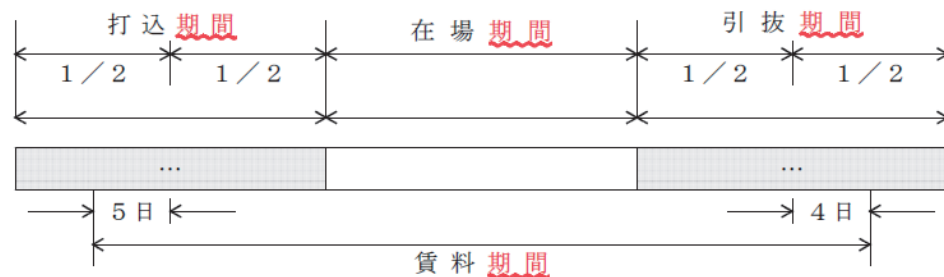
仮設-7
(113)

105-010 仮設工

1. 賃料期間の算定

鋼矢板の賃料期間の算定については次を標準とする。

改



$$\text{賃料期間 (日)} = \left[(\text{打込期間} \times 1/2) + (\text{在场期間}) + (\text{引抜期間} \times 1/2) \right] + (5\text{日} + 4\text{日})$$

定

- (注) 1. 仮設用H杭についても同様の扱いにする。
 2. 土留め、締切り、路面覆工等に使用される切梁腹起し覆工板及び工事用道路等に使用される敷鉄板については打込（引抜）期間を設置（撤去）期間と読みかえ同様の扱いとする。
 3. 在场期間・打込期間・引抜期間は、各工種の積上日数を雨休率により補正した期間である。
 4. 5日は材料の搬入期間、4日は材料の搬出期間である。
 5. 現地条件及び現場制約等により積上日数によることが困難の場合は、別途考慮する。

土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

ページ

共通編 河川編 道路編

改定 追加 訂正

適用年月日（平成30年2月1日以降積算基準日適用）

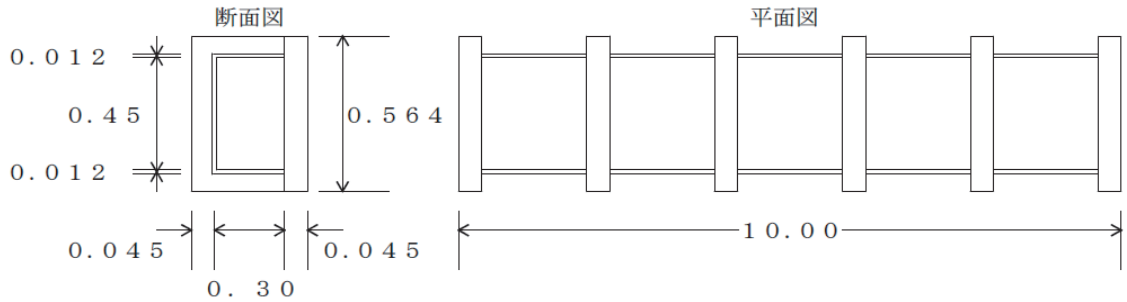
仮設
-27
(133)

105-290 水替工

とい排水工損料は、積上を原則として次に例を示す。

迂回排水路用木樋 <参考図> W=0.45m、H=0.30mの場合

現



行

105-290-01 とい排水製作

施工単価コード DX073400

表1.1 排水工（木樋）製作歩掛 (10m当り)

機 種	規 格	単 位	数 量
型 枠 合 板	幅率25%	枚	6.48

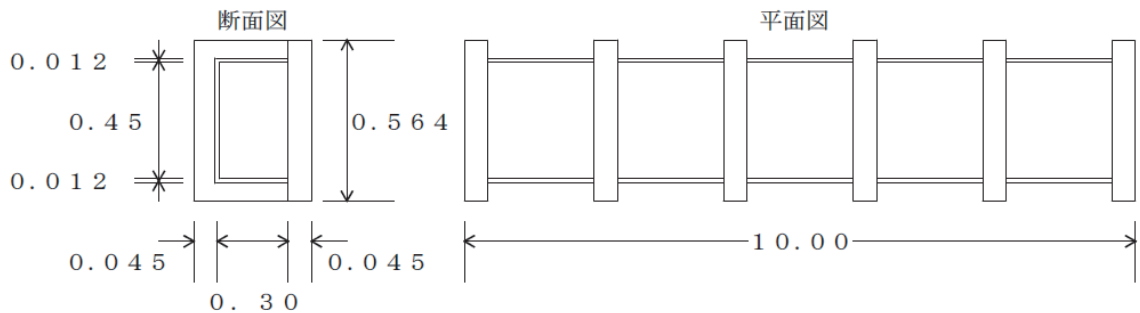
仮設
-27
(133)

105-290 水替工

とい排水工損料は、積上を原則として次に例を示す。

迂回排水路用木樋 <参考図> W=0.45m、H=0.30mの場合

改



定

「105-290-01 とい排水製作」、「105-290-02 とい排水移設」は、上記参考図の断面より小さい場合に適用できることとし、大きい場合は別途計上する。

105-290-01 とい排水製作

施工単価コード DX073400

表1.1 排水工（木樋）製作歩掛 (10m当り)

機 種	規 格	単 位	数 量
型 枠 合 板	幅率25%	枚	6.48

105-010 仮設工

1. 賃料期間の算定

鋼矢板の賃料期間の算定については次を標準とする。



$$\text{賃料期間 (日)} = (\text{打込期間} \times 1/2) + (\text{在場期間}) + (\text{引抜期間} \times 1/2) + (5\text{日} + 4\text{日})$$

- (注) 1. 仮設用H杭についても同様の扱いにする。
 2. 土留め、締切り、路面覆工等に使用される切梁腹起し覆工板及び工事用道路等に使用される敷鉄板については打込（引抜）期間を設置（撤去）期間と読みかえ同様の扱いとする。
 3. 在場期間・打込期間・引抜期間は、各工種の積上日数から雨休率により補正した期間である。
 4. 5日は材料の搬入期間、4日は材料の搬出期間である。
 5. 現地条件及び現場制約等により積上日数によることが困難の場合は、別途考慮する。

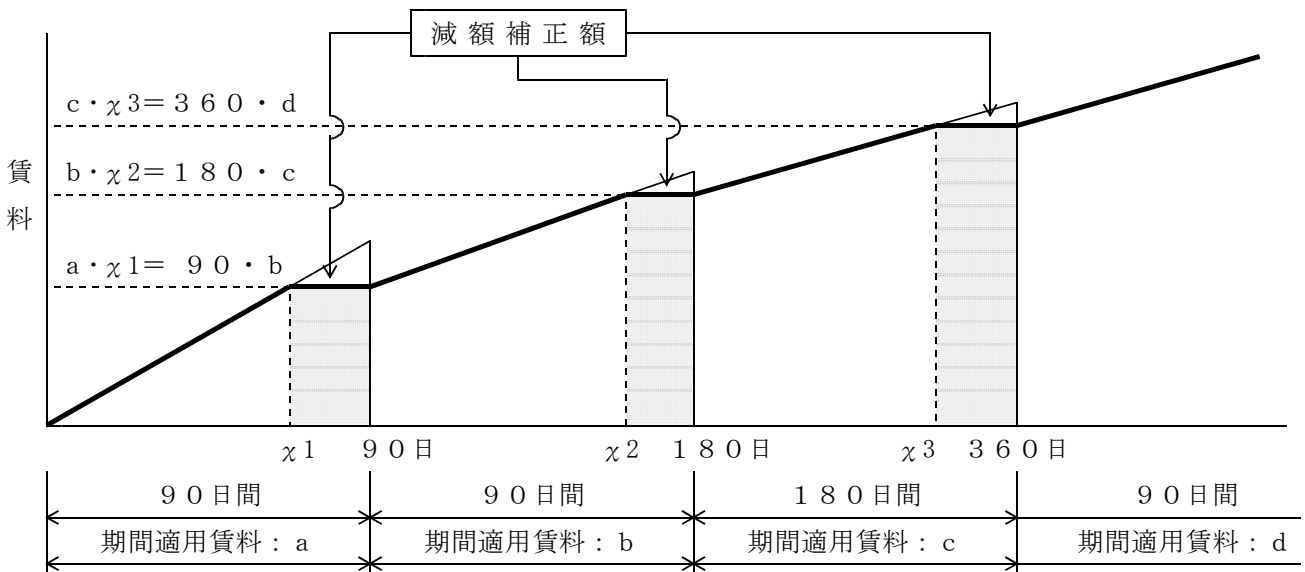
2. 適用区分による賃料の補正

- (1) 鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板及び鋼製マットの供用日数（または月数）の長短により賃料の適用区分が変わることによって、賃料計上額が当該日数（または月数）の増加に比例せず減少する場合がある。したがって減少する時点までの供用日数（または月数）における賃料計上額は、その減少する時点における賃料計上額を上限とし、次の方法で減額補正すること。

(2) 補正方法

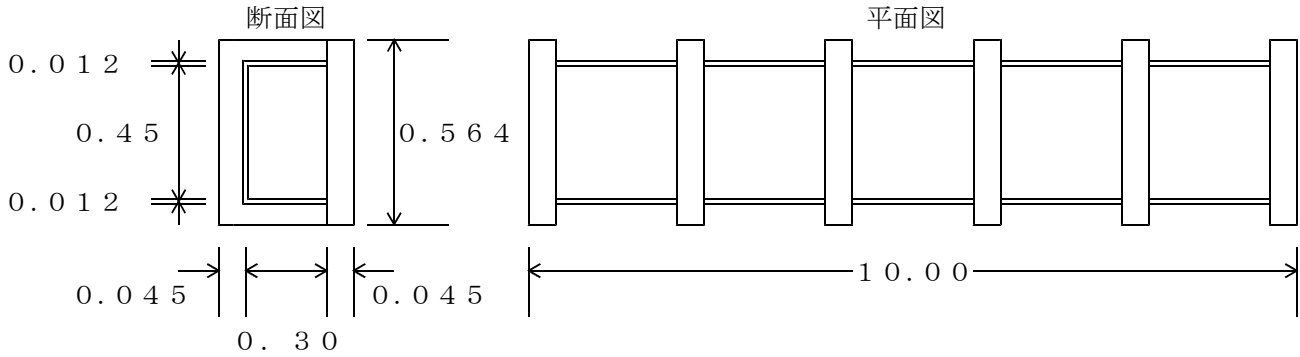
- ① 補正額の積算方法は、供用日数が斜線部内にあるときは、補正日数により積算すること。

図2-1



とい排水工損料は、積上を原則として次に例を示す。

迂回排水路用木樋 <参考図> W=0.45m、H=0.30mの場合



「105-290-01 とい排水製作」、「105-290-02 とい排水移設」は、上記参考図の断面より小さい場合に適用できるとし、大きい場合は別途計上する。

105-290-01 とい排水製作

施工単価コード DX073400

表1.1 排水工（木樋）製作歩掛 (10m当り)

機種	規格	単位	数量
型枠合板	損率25%	枚	6.48
角材	正角 〃 25%	m3	0.02
クギ		kg	0.48
ビニールシート	〃 30%	m2	12.50
型枠工		人	0.33
普通作業員		〃	0.14

※合板……… $(0.45 + 0.30 \times 2) \times 10 \div (0.9 \times 1.8) = 6.48$ 枚

製材……… $\{0.45 + 0.012 \times 2 + (0.045 + 0.30) \times 2 + 0.564\} \times 6 \times 0.045 \times 0.045 = 0.02$ m3

ビニール…両側10センチの折り返しを考慮して

$(0.1 + 0.30 + 0.45 + 0.30 + 0.1) \times 10 = 12.5$ m2

105-290-02 とい排水移設

施工単価コード DX073400

表1.2 排水工（木樋）移設歩掛 (木樋長さ10m当り)

名称	単位	排水移設
普通作業員	人	0.25

- (注) 1. 作業工程を考慮して必要最小限の延長のみ製作し、後は移動して使用すること。
- 2. 必要に応じて小口に麻袋を計上することができる。
- 3. 断面は、常時流下断面の70%程度とする。
- 4. 取外し+20m程度の移動+設定を含む歩掛である。